

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 方 法		
修学基礎教育課程 人間形成基礎科目 生涯学習		生涯学習特別講義（ポジティブ心理学 と組織活性化）（春期集中講義）		1	G481-01	6期（後学期）	修学規程第4条を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 ・ 教 育 目 標									
キーワード		学習・教育目標							
1	ポジティブ心理学	ビジネスの世界で昨今注目されている、ポジティブ心理学を活用した組織改革の在り様について基礎的な内容を学ぶ。ポジティブな側面に注目するポジティブ心理学について知り、職場環境の活性化に向けて、如何にこれからの時代に求められる新たなリーダーシップを効果的に発揮させるのか、従業員のワークエンゲージメントを向上させるのか、基本的な手法について演習を通して体感する。							
2	組織活性化								
3	ポジティブリーダーシップ								
4	ワークエンゲージメント								
5	Appreciative Inquiry								
授業の概要および学習上の助言									
<p>少子高齢化に依る人手不足が課題となっている現代において、ビジネスの成否は「顧客満足度」のみならず、「従業員満足度」にも大きく関わってくる。「働きたくなる職場」を如何に構築するかが問われる中、企業の生産性を上げるには、人手不足の現場で従業員の心身の健康度をも向上させるリーダーの育成や、従業員が長く働きたいと思える職場風土をどのように作り上げるかがカギとなる。米国を中心とした先進国では既に、ポジティブ心理学を活用し、組織活性化に必要なリーダーシップの在り様や、従業員のwell-beingを向上させる環境調整に関する手法が着目されている。そこで本科目では、ポジティブ心理学の応用となる組織活性化について取り上げ、主に以下の3点について概説する：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポジティブ心理学の基本 2. ポジティブ組織論 3. ポジティブアプローチの手法（AI: Appreciative Inquiry） <p>各項目の概要を学んだ後、ポジティブアプローチの手法の一部を演習にて体験する。</p>									
【教科書および参考書・リザーブドブック】									
教科書：指定なし 参考書：指定なし リザーブドブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
特になし									
No.	学科教育目標 (記号表記)	学生が達成すべき行動目標							
①	B	ポジティブ心理学の基礎概念および基礎用語を文章で説明することができる。							
②	B	ポジティブリーダーシップとは何か文章で説明することができる。							
③	B	ワークエンゲージメントはどのように高めることができるのかを文章で説明することができる。							
④	B	Appreciative Inquiryの基礎概念および基礎用語を文章で説明することができる。							
⑤	B	Appreciative Inquiryの実践方法を文章で説明することができる。							
⑥									
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		30	0	40	30	0	0	0	100
総合力 指標	知識を取り込む力	25	0	20	0	0	0	0	45
	思考・推論・創造する力	5	0	0	10	0	0	0	15
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	10	0	0	0	0	10
	発表・表現・伝達する力	0	0	10	10	0	0	0	20
	学習に取組む姿勢・意欲	0	0	0	10	0	0	0	10

※総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験	①	第1回～第3回までに学習した内容について、第4回に試験を行う。(30%)
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
クイズ 小テスト	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
レポート	①	各授業で学んだ内容をまとめるレポートを作成する。第7回の授業時間までに完成させる。(40%)
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
成果発表 (口頭・実技)	①	講義内容、およびそこで自身が学んだことをまとめたレポートに基づいて、クラス全体に対して発表を行う。(30%)
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
作品	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
ポートフォリオ	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	
その他	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>ポジティブ心理学の基礎概念および基礎用語を正しく理解し、説明できる。また、ポジティブ心理学に基づいた、ポジティブリーダーシップ、およびポジティブアプローチの方法 (Appreciative Inquiry) についても理解し、それらを自分の所属する組織の活性化に活用する方法を考え、実践するための計画を立てることができる。</p>	<p>ポジティブ心理学の基礎概念および基礎用語を理解し、説明できる。また、ポジティブ心理学に基づいた、ポジティブリーダーシップ、およびポジティブアプローチの方法 (Appreciative Inquiry) についても理解し、説明することができる。さらに、それらを組織の活性化に活用する方法を考え、説明することができる。</p>

授業明細

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」→「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」→「修得した内容を表現、発表、伝達する」→「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行動ください。※学習課題の時間欄には、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習時間全体としては、各授業に応じた時間（例えば2単位科目の場合、予習2時間・復習2時間/週）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)※
1回 /	科目ガイダンス ●自己紹介とお互いを知るための演習 ●ポジティブ心理学とは：講義	講義と質疑応答 演習実施	予習：ポジティブな生き方とは何かを考えてみる 復習：講義内容を確認しておく	30 30
2回 /	●ポジティブ心理学とは：講義 続き *演習を含む（ポジティブエクササイズの紹介）	講義と質疑応答 演習実施	復習：講義内容を確認しておく	60
3回 /	●ポジティブ組織論 ・ポジティブリーダーシップ ・ポジティブフィードバック *演習を含む	講義と質疑応答 演習実施	予習：ポジティブ心理学を活用したコミュニケーションとはどんなことかを考えてみる 復習：講義内容を確認しておく	60 60
4回 /	●講義内容の振り返り ●理解度テスト実施	質疑応答 テスト実施 自己点検	予習：第1回～第3回の授業内容について見直しを行い、質問を考える 復習：テスト結果を踏まえて、理解不足な項目を読み直す	60 30
5回 /	●組織におけるポジティブコミュニケーションを考える ・ポジティブアプローチの手法（AI） 講義 ●ポジティブアプローチ実践演習① ・ペアでのポジティブインタビュー実施	演習実施	復習：演習内容を確認しておく	30
6回 /	●ポジティブアプローチ実践演習② ・ポジティブインタビュー結果のチーム内共有（チーム：2ペア4名） ●ポジティブコミュニケーションのまとめ	演習実施 質疑応答	予習：まとめレポート作成のためにここまでの講義内容・演習内容を確認しておく 復習：作成中のまとめレポートを見直ししておく	60 60
7回 /	●発表 ・作成したレポート内容をクラス内で発表する 全体のまとめ	演習実施 成果発表 自己点検	予習：発表する内容を考えておく	60